

(独)防災科学技術研究所と協力し、防災に関するインターネットサイト「小林市ポータル」を実験的に運用しています。市内の自主防災組織が作成した防災マップなどを閲覧できます。市民協働による防災の取り組みをのぞいてみませんか。(問：小林市市民活動支援センターTel.27-3177)



Info 防災
迅速な災害に対応するため
危機管理クラウドシステム



平成27年1月27日に行われた実証実験。災害情報などを実際に入力する職員ら

平成28年度から「官民協働危機管理クラウドシステム」を運用を始めます。このシステムは、災害時に設置される災害対策本部および災害対応にかかる関係部局、災害ボランティアセンターなどの情報共有に加え、各種防災情報（気象情報、河川情報、道路被害情報、避難所情報など）の提供や収集業務を迅速・的確に行うために有効なシステムとなっています。

News 協働のまちづくり
まちづくり取り組む10団体
活動状況や課題を報告

まちづくりに取り組む団体などが活動の報告を行う「小林市元気なまちづくり支援補助金及びNPOパートナーシップ創造事業補助金活動報告会」が、3月12日に八幡原市民総合センターで開催されました。市から活動支援補助金の交付を受けた10団体が発表。各団体が活動内容や課題を情報共有し、協働のまちづくり実現への理解を深めていました。



10団体が活動の成果を発表しました。(写真は、小林元気クラブの発表の様子)

取り組みを紹介します

きずな協働体 今月は、野尻地区

「のじり笑顔元気イベントカレンダー」が完成

輝けフロンティアのじり住民交流委員会では、少子高齢化社会の中、地域住民が自分たちで工夫して行っている町内のいろいろな催しを掘り起こし、多くの人に参加することによって自助、共助、公助につながるヒントや情報の提供などを目的に次の

ことを取り組みました。まず、のじり庁舎だよりで、町内の多くの団体や世話人の皆さんを取材し、地域の団体を紹介。そしてこの度集大成として、各団体のイベントや催しのカレンダーを作成。カレンダーは、野尻地区内の各家庭に配布します。



皆さんカレンダーを
活用下さい。



輝けフロンティアのじり
住民交流委員会
大浦正人委員長

協働により「九州一 安心安全なまち 小林市」を目指して

こばやし協働

Info & News

インフォ アンド ニュース

News 防災
自主防災組織がマップ作成
コンテスト形式で成果発表

インターネットで地図を閲覧・編集できるシステム「eコミマップ」を防災で活用しようと、市内11の自主防災組織が、昨年の9月から現地調査や協議を重ね、防災マップを作成しました。2月28日、コンテスト形式の発表会が須木総合ふろさとセンターで開催。関係者は、「自主防災の大切さ、必要性を改めて再認識した」、「防災マップを安全なまちづくりに活用したい」などと発表しました。マップは、「小林市ポータル」で検索すると閲覧できます。



最優秀作品に選ばれた麓区自主防災組織(発表者：麓区長の金松勲さん)の発表の様子。

News 医療・介護
地域包括ケアシステム構築は
地域づくりであり自分づくり



「まずは“一人称”で考えることが重要」と自分の事として考えることを呼びかける池田先生。

平成27年度第2回西諸地域在宅医療推進研修会が3月2日、文化会館で行われました。西諸医師会(高崎直哉会長)主催の講演会に203人が参加。登壇した垂水市立医療センターの池田忠先生は「人生観、健康観、死生観を基に自己決定することが大切。地域の連携と住民参加は絶対条件です。西諸は医療介護の就業者が多い。信頼される地域包括ケアができないと流出する」と訴えました。

協働により「九州一安心安全なまち」を目指して



防災や防犯に役立つ情報届けます。「小林市防災・防犯メール」

災害や身近な防犯情報をお届けします。携帯電話やスマートフォンのカメラ機能で、QRコードを読み取り、本文に「ぼうさい」と入力し、送信すると登録できます。登録完了メールが届かない人は、防災メールなどを受信できない設定になっている場合が考えられます。「city.kobayashi.lg.jp」からのメールを受信できるよう携帯電話から設定するか、最寄りの携帯電話の販売店にて受信設定を行ってください。(問：危機管理課 Tel.23-1175)



QRコード